



千葉県産ミニトマトを使用したサラダ。規格外品を使うことでフードロス削減にも貢献

成田国際空港株式会社に対し、佐原信用金庫と連携した農産物マッチングを行いました。

成田国際空港の社員食堂では、近隣で生産された農産物を使用したランチを提供しています。

また、空港周辺を営業地域とする佐原信用金庫は、同取り組みに対し生産者を紹介していましたが、成田国際空港からの取り組み拡大の意向を受け、これまで連携を深めてきた日本公庫に相談し、公庫のお取引先の紹介が実現しました。

佐原信用金庫と公庫は、地域の課題解決に向けて、今後も連携して支援します。(5月20日)

千葉支店
地域金融機関と連携した
成田空港へのマッチング



未来塾研修生の他、農業大学校の学生や一般の方など約60人が参加。公庫新入職員も登壇

将来を担う農業者の挑戦を支援すべく、栃木県農政部および農林中央金庫宇都宮支店と連携し、栃木県農業大学校において、とちぎ農業未来塾オープン講座「新規就農者応援セミナー」を開催。

日本公庫は、新規就農者の成功・失敗事例を交え「農業経営の始め方」について解説するとともに資金制度などを紹介。あわせて、農林中央金庫が、青年等就農資金の借入手続きなどを説明しました。

参加者からは、公庫の支援制度などに関する質問が閉会後も相次ぎ、新規就農に対する高い関心と熱意がうかがえました。(6月3日)

宇都宮支店
農業経営の始め方を解説
新規就農者応援セミナー

GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)

開催まであと半年！

2027年3月19日(金)から9月26日(日)まで、神奈川県横浜市において「GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)」が開催されます。

GREEN×EXPO 2027では、1,000万株の花や緑による美しい景観をはじめ、世界各国の食の魅力、日本ならではの文化やライフスタイル、



会場イメージ(2026年8月現在)
画像提供：GREEN×EXPO協会

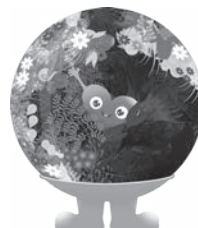
最先端のグリーン技術など、多彩なコンテンツを通じて、みんなが「楽しめる万博」を目指しています。

本年9月には開催半年前を迎え、9月18日から来場日時予約の受付が開始されます。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

詳細はこちら

→ <https://expo2027yokohama.or.jp/>



GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トックトック

©Expo 2027

災害のお見舞い

令和8年熊本地震に伴う災害により

被害を受けた皆さま方に、

心よりお見舞い申し上げます。

日本公庫農林水産事業では、このたびの災害により被害を受けた農林漁業者などの皆さまを対象に、特別相談窓口を設置しています。

ご融資やご返済に関する相談に、政策金融機関として迅速かつきめ細かな対応を行ってまいります。

お問い合わせ先

熊本支店 TEL:096-353-3104

次号予告 秋1号(10月発行)

進化する養殖業の最前線(仮)

地球温暖化による海洋環境の変化や主要魚種の不漁が続く一方、世界では水産物の需要が拡大する。水産物の持続的な資源利用と安定供給の両立に向け、計画生産が可能な養殖業への期待が高まっている。養殖業の現状、技術革新などから今後の成長を展望する。

ご意見募集

今号はいかがでしたでしょうか。感想やご意見をお寄せください。FAX・eメールなどで受け付けています。掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

FAX: 03-3270-2350

eメール: anjoho@jfc.go.jp

編集後記

④今号を通じて、自然と調和して持続可能な社会を目指す有機農業の意義を実感しました。生産資材の価格が高騰する中で、その影響を受けにくいことも大きなメリットです。私自身は消費者として、これから有機農業を応援していきたいと思います。生産者の方々の熱意や挑戦が、未来の食を守る力になることを期待しています。(清野)

④今回は特集2先の取材を担当させていただきました。取材を通じて「有機農業に対する強い信念を改めて感じました。有機農業は、従来の農法よりも手間暇がかかると言われる分、その継続には、地域・社会との連携が必要で、今号をきっかけに有機農業への関心を持っていただけたら幸いです。(宮崎)

④今号よりAFCフォーラム編集部に加わらせていただくことになりました。以後よろしく願いいたします。有機農業が生産者の方々の試行錯誤により成り立っていることが印象的でした。雑草対策など、多くの課題に向き合う姿に感銘を受けました。スマート農業の技術革新がこうした挑戦を支えることを期待したいです。(山下)

④「有機農業をもっと手軽に。そして若者が誇りを持って働ける農業に変えていきたい」と語る三上智暉さん(「新・農業者」で紹介)。同じ志を持つ農業経営者と集う機会を得て、その気持ちはより強くなったそうです。「自分たちが中心になって何かできないか」と問う三上さん。若手経営者の熱い思いを感じました。(水谷)

AFCフォーラム 2026.9 夏2号

■編集

小柳 典義	清野 健	宮崎 善幸
黒川 知洋	澤田 真理	村上 裕紀
山下 聡子	水谷 徳子	

■編集協力

金子 弘道

■発行

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部

〒100-0004

東京都千代田区大手町1-9-4

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

Tel. 03(3270)2268

Fax. 03(3270)2350

E-mail anjoho@jfc.go.jp

■印刷

株式会社DI Palette

* 本誌に掲載している記事、写真、図表、データなどをご利用になりたい場合は、事前に当社までご連絡ください。

国産にこだわり



をつなぎます



国産農林水産物・食品の商談会

第14回

アグリフードEXPO 大阪2027

日時

2027年2月25日(木)・26日(金)
10:00-17:00 10:00-16:00

会場

ATC アジア太平洋トレードセンター

同時
開催



第24回 シーフードショー大阪

公式ホームページ



主催:



日本政策金融公庫